

2008年7月22日

第二回測量コンテスト報告

高知工科大学 高木方隆

1 コンテストの内容

前回同様、通常の測量業務とは全く異なる課題に挑んでいただいた。今回の課題は、2つの球形ターゲットを上下に配置させ、ターゲット中心間の鉛直距離を求めるというものである。ターゲットが球であることで、その中心を直接視準することが出来ないのがポイントである。なお、球の直径は提示し、ヒントとしてその値の活用を認めた。

2 コンテストの実施状況

今回は地理空間情報フォーラムの展示会場で行った。そのため、たくさんの方にコンテストの風景をご覧いただくことができた。参加者も、去年は炎天下の中での作業でしたので、かなり体力が消耗していたようだが、今回は室内ということで、快適に作業ができたようだ。

参加者は総勢12チームで、昨年より4チーム増加した。そのうち自作機器で挑んでくれたチームが7チームと半数以上で、すべて大学生チームであった。精密機器使用のチームは、2つの大学生チームと3つの社会人チームであった。自作機器のチームが増えたのは、良い傾向にあると言える。

3 コンテストの結果

測量コンテストの入賞者は次の通りであった。

- **最優秀賞**：高知工科大学 チーム Udax（自作機器）
- **技能賞**：日本大学 チーム H.I.T（自作機器）
- **アイデア賞**：金沢工業大学 チーム K.S.T（自作機器）
- **敢闘賞**：小川登記測量 チーム Over40（精密機器）

自作機を使用したチームにはハンディをつけて、精密機器を使用したチームと同じ土俵で評価した。ハンディが少々大きかったようで、自作機器を使用したチームが有利となった。今回の自作機器を用いたチームのレベルは、前回は大きく上回っており、入賞チームの平均二乗誤差は5cm未滿と、レベルの高い戦いであった。

精密機器を使用した結果は、やはり社会人チームの精度が非常に高く、今年も大学生チームにはかなわない結果となった。

次回も引き続き、展示会場にて実施し、測量の面白さを会場で発信していきたいと願っている。

チーム	所属	最確値	精度	報告書	アイデア	総合得点
K. S. T	金沢工業大学	2.5860	0.0295	9	19	44.0
帝国建設	帝国建設コンサルタント	2.5703	0.0168	9	16	35.0
小川Over40	小川登記測量	2.5561	0.0049	9	17	35.3
さだあーず	日本大学	2.8970	0.3364	8	17	29.0
Team H. I. T	日本大学	2.5593	0.0489	9	19	44.7
造園建設工学研究室	東京農業大学	1.6190	0.9522	9	19	31.3
Hidax	高知工科大学	2.5419	0.0231	9	18	45.0
Udax	高知工科大学	2.5990	0.0220	9	17	31.3
小泉研究室TS	千葉工業大学	2.5577	0.0033	8	17	35.7
小泉研究室自作	千葉工業大学	2.5267	0.0394	8	17	31.7
歩兵(ふ)	小川登記測量	2.5598	0.0012	9	16	35.0
沢田竹内研究室 1	東京大学生研	2.3940	0.1670	8	16	28.0